

## 渡りをする蝶「アサギマダラ」

コース 専攻：国際交流・協力

グループ名：アサギマダラ CS 会

メンバー：石元克和 岡崎孝子 辻本雅夫 坪田裕 増本真理子 水谷忠清

### [テーマ設定の理由]

世界で唯一、2000 km以上も海を超えて渡りをする蝶 アサギマダラ。その謎に惹かれ6名の仲間が集まりました。アサギマダラは、遠く台湾や香港まで渡りをしています。現地の調査団と交流をしたり、渡りの実態を調べたりする事で、アサギマダラを取り巻く状況を知りたいと思い学習をスタートしました。神戸には、アサギマダラの飛来場所が点在しています。現地へ足を運び、活動の様子を調べる事が、今後の私達に出来る事柄につながればいいとの考えもありました。環境悪化や気候変動によって、飛来場所は減少しています。そこで、次世代にアサギマダラの存在を伝え、神戸の街が、アサギマダラが安心して飛来出来る場所になるような活動をしたいと思いテーマを設定しました。



<摩耶山天上寺にて撮影>

### [主な活動内容]

○「アサギマダラの会」に入会し、調査活動に参加しました。

※5月（兵庫県豊岡市竹野大浦海岸にて春の調査会）

マーキング調査の仕方のレクチャーを受け、マーキングリストの活用の仕方を知りました。この時初めてマーキングした蝶が20日後長野県小諸市水沼で再捕獲されました。なんと20日で340 kmも移動していました。本当に長距離を移動する蝶だと実感しました。

※6月（淡路島岩屋の松帆の浦海岸で、メンバーだけの調査会）

※8月（新潟県妙高高原で夏の調査会）

※10月（和歌山県日高町で秋の調査会）

アサギマダラの谷では、フジバカマが広範囲に栽培されており、雨にもかかわらずアサギマダラの乱舞を見ることが出来ました。

○地域でフジバカマを植えアサギマダラの呼び込み活動をしている人たちとの交流

神戸市には、アサギマダラの飛来ルートがあり、森や林がある地域にはアサギマダラの飛来が期待できるとの予想のもと、各地でフジバカマがうえられています。その代表的な処が摩耶山天上寺です。2024年も飛来時期は10日程遅れましたが、多くのアサギマダラが飛来しました。また、神戸市内の小中学校でも呼び込み活動をしている市民団体との交流も行いました。

### [学習を終えて]

当初計画していた、台湾での調査は、蝶の飛来時期との日程調整が合わず実現しませんでした。現地調査団とのメールによる交流ができました。また、現在も調査・学術研究を進めている大阪市立自然史博物館の金澤至氏のZOOM講義により最新の研究成果も知ることが出来ました。また、新しい人々との出会いによって、活動分野は広がっていきました。カレッジ卒業後も楽しく活動できそうな予感がしています。